

## プログラム

### 第1部 清瀬保二作品

おはなし ―清瀬保二―  
四つの前奏曲 I

降矢美彌子

丘の春

大木恵美

第二ピアノ曲集

I. アンダンティーノ III. プレスケ VII. エチュード

手塚千春

小組曲

1. 耳語 2. 行進曲 3. おわかれ

郷土舞踊

III. まんざい

渡部瑞基

琉球舞踊

手塚千春

バラード

～休憩～

岩淵摂子

### 第2部 クルターグ・ジェルジュ連弾作品

おはなし ―クルターグ・ジェルジュ―

降矢美彌子

花・人…ミヤコへ

大木恵美・降矢美彌子

われに従う者は (ラッソ原作)

コレンテⅢ (フレスコバルディ原作)

十字架上の七つの言葉 (シュッツ原作)

女王の葬送行進曲とカンツォーナ (パーセル原作)

渡辺真純・守屋圭子

罪なき神の子羊 BWV deest (バッハ原作)

降矢美彌子・手塚千春

深き苦悩の叫びをあなたへ BWV 687 (バッハ原作)

岩淵摂子・降矢美彌子

神の時は最上の時 BWV 106 (バッハ原作)

渡部瑞基・降矢美彌子

企画・構成・指導 降矢美彌子

## 降矢美彌子と仲間たちの紹介

降矢先生のもとで音楽を学んできた仲間たちを紹介します。

### 岩淵摂子

宮城教育大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。2000年及び2002年ハンガリーにてインターナショナル・ピアノ・マスタークラスに参加。仙台白百合女子大学で特任講師として音楽教育やピアノの授業をする傍ら、家庭では3姉妹を育てる母親で、日々家庭と仕事と音楽に奮闘しています。

### 大木恵美

福島大学教育学部音楽科卒業。福島市立西信中学校の講師として音楽の授業を受け持っています。福島コダーイ合唱団に創設から30年在籍し、音楽を学んでいます。

### 手塚千春

宮城教育大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。カワイ音楽教室や仙台白百合女子大学(非常勤講師)で、子どもから大人までピアノの楽しさや音楽の奥深さを伝えています。

### 守屋圭子

宮城教育大学生涯教育総合課程芸術文化専攻卒業。大学時代にピアノを学ぶも、当時降矢先生の授業で出会ったバリ島の芸能の魅力に惹かれインドネシアに留学。カルチャーセンターや宮城教育大学(非常勤講師)でバリ舞踊やガムラン音楽を教えています。

### 渡辺真純

宮城教育大学生涯教育総合課程芸術文化専攻卒業。東北大学で研究室の秘書をしており、教授、准教授、助手の先生方と、34人の学生のサポートをしています。大学卒業後もピアノを勉強し続けています。

### 渡部瑞基

福島県立会津学風高等学校2年生。中学1年から降矢先生のピアノのレッスンを受け始めました。毎週2時間半かけてレッスンに通っています。

### 降矢美彌子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。1986年度の国際コダーイ協会奨学金を得て、1987年ハンガリーに留学。ピアノをクルターグ・ジェルジュ、アーブラハム・マリヤンヌ、ピアノ教授法をテーク・マリヤンヌ、合唱指揮法をウグリン・ガーボル、モハイネー・カタニチ・マールリアの各氏に学ぶ。博士(学術)。「福島コダーイ合唱団」音楽監督。宮城教育大学名誉教授。ハンガリーのピアノ教育の理念に基づき、生涯にわたって音楽で人生を豊かにしていくための音楽教育を広めたいと思っています。

## 福島ピアノサービス

〒960-8202  
福島市山口字沼田36  
☎(024) 536-0036

### ピアノ専門店



焼きたてパンと食パンの美味しいお店  
信夫ヶ丘本店  
〒960-8203  
福島市本内南下釜2-6 TEL.024-525-2690  
営業時間/10:00~19:00(日曜・祝日10:00-18:00)  
定休日/毎週金曜・月曜(月曜が祝日の場合、火曜が休み)  
駐車場/あり

手作りパンとランチバイキングのお店  
チェンバおおまち店  
〒960-8041  
福島市大町4-15 チェンバおおまち1階  
TEL.080-5730-2150(直通)  
営業時間/10:00~18:30(予約制営業19:00~21:00)  
定休日/毎週土曜・日曜・祝日 駐車場/なし



## 降矢美彌子と仲間たち

## ピアノ・コンサート



2017年12月3日(日)  
開場 14:00 開演 14:30  
福島市音楽堂 大ホール

主催: 福島ハンガリーピアノ研究会

後援: 福島県教育委員会・福島市教育委員会・  
仙台白百合女子大学・福島民報社・福島民友新聞社・  
朝日新聞福島総局・読売新聞東京本社福島支局・  
毎日新聞福島支局・福島テレビ・テレビユー福島・  
福島中央テレビ・福島放送・ラジオ福島・ふくしま FM

## ご挨拶

皆さま、本日は、ようこそ「降矢美彌子と仲間たち ピアノ・コンサート」にお越しくださいました。私たちは、同じ学び舎でピアノを通して、音楽や人生を学び合ってきた仲間です。

今日、演奏する第一部の清瀬保二は、日本人作曲家のパイオニアのような存在で、武満徹が唯一の師だと語った作曲家です。日本人の音を探究し、苦悩の末に他の作曲家にない独自の日本の音楽を生みました。第二部のクルターグ・ジェルジュは、ハンガリーの作曲家で、音と沈黙を大切に考え独自の世界を築きました。クルターグの「沈黙」は、日本人の俳句にも通じるものがあります。クルターグは、リサイタルでは、マールタ夫人とともに必ず連弾を演奏します。それで、クルターグは、素敵な連弾曲をたくさん作曲しました。

清瀬も、クルターグも降矢が若い時代から親しく語らいながら学んだ作曲家です。福島の皆様には是非、お聴きいただきたいと思いました。ほとんど全曲が、福島初演で、お耳に慣れない音楽ですが、一生懸命演奏いたします。どうぞ、お聴きください。

2017年12月3日

福島ハンガリーピアノ研究会  
降矢 美彌子

## 曲目解説

## 第1部 清瀬保二作品

四つの前奏曲 I

1947年の作曲。戦後の混乱の中で清瀬保二の生活も困難だった時の作品で、当時の時代背景が反映されていると言えます。戦後にできたこの作品やその後のピアノ作品は、戦前の作品に比べて曲想の変化とヴァイタリティに富んできたといえると清瀬が述べています。Iはその頃のやる気のない寂寥の感じ、と作者自身書いています。

丘の春

1932年の作品。旋法的な作品であり、五音階の旋律や4度、5度の和音がたくさん使われています。ロシアのピアニストで作曲家であるチェレプニンに好まれ、チェレプニン・エディション（1930年代に欧米で出版された日本と中国の作曲家の作品集）に収められ、世界各地で演奏されました。

第二ピアノ曲集

I. アンダンティーノ III. ブルレスケ VII. エチュード

1937年から1940年の間に書かれた小品から選ばれた7曲で構成されています。I.アンダンティーノの和音の連続は、清瀬保二が好んで使う手法の一つです。III.ブルレスケは、C、E、Gis、A音の4音を主に用いて作曲されています。VII.エチュードは、イ長調の和音の中に現れる7度の音程や半音階進行が、独特の雰囲気を作っています。

小組曲

1935年の作曲で、第一ピアノ曲集の中に含まれており、1. 耳語 2. 行進曲 3. おわかれ の三曲で構成されています。1. 耳語は「ささやき」のことで、複数の調が同時に使われ面白い響きをつくっています。2. 行進曲は、一般的なマーチと雰囲気が異なり、優しくかわいらしい性格の作品です。3. おわかれは、1. 耳語と類似したモチーフが使われ、組曲としての統一感を持たせています。

郷土舞踊 III. まんざい

1936年に作曲された郷土舞踊は、I. 原始的舞踊 II. 盆踊り III. まんざい の3曲で構成されています。本日演奏する「まんざい」は、新年を祝う日本の伝統芸能「万歳（萬歳、万才）」のことで、現在の「漫才」の元となったと言われています。

琉球舞踊

1936年に清瀬保二が全国郷土舞踊大会で琉球音楽を聴き、邦楽との違いに驚き、翌日になっても耳を離れず作曲されたそうです。主に琉球音階（ドミファソシド）の要素が入っていますが、それを意識的に用いたのではなく、印象としての創作と記されています。I、II、IIIと番号の付いた3つの小品で構成されています。

バラード

1943年作曲。「バラード」は元々は古いヨーロッパの詩の形式のことですが、作者自身の解説によれば、この曲は具体的な物語を持っているわけではなく、「琉球舞踊以来、私の夢は南に進んだ。」「そうした夢がつもりつもって、何かしら書きたくなった」と記されています。三部形式で、舞踊風の間奏部には琉球音階の要素が用いられています。

## 第2部 クルターグ・ジェルジュ連弾作品

花・人…ミヤコへ

クルターグが2001年3月末に亡くなった降矢美彌子の父の死を悼んで贈った作品です。1分余の短いピアノ・ソロのためのこの作品は、その後、ピアノ連弾、チェロとピアノ、弦楽トリオに編曲されました。各編曲作品は、それぞれ全く異なった世界をもっています。クルターグ作品にとって深い意味をもつ魔法による短いスケールと完全五度が象徴的に用いられています。

われに従う者は（ラッソ原作）

オランダ・ディ・ラッソ（Orlando di Lasso, 1532～1594）は、モンス（現ベルギー）生まれの後期ルネサンスを代表する作曲家です。特にポリフォニー様式の作曲に長けており、作品数は1,200を超えます。この曲は1577年頃の作品で「われに従う者は、暗闇の中を歩かず、かえって命の光を持つだろう」という歌詞があります。

コレンテⅢ（フレスコバルディ原作）

ジローラモ・フレスコバルディ（Girolamo Frescobaldi, 1583～1643）は、イタリアの初期バロック時代の作曲家で、中でも鍵盤楽曲を多く残しました。オルガン奏者としても大変活躍しました。コレンテは軽快な曲想の舞曲です。この曲は1615年頃に作曲され、典型的な二部形式で作られています。

十字架上の七つの言葉（シュッツ原作）

ハインリヒ・シュッツ（Heinrich Schütz, 1585～1672）は、ドイツの初期バロック時代の、ちょうどバッハ誕生の100年前に生まれた作曲家です。同時

にオルガン奏者でもありました。36歳の時にドレスデン宮廷の楽長に就任しましたが、戦争に遭い、その後は宮廷楽団の再建に努めるなど、苦悩の多い晩年を送りました。この曲は1645年頃に作曲された、合唱曲の間に演奏される器楽曲です。調性の変化が目まぐるしく、色彩豊かな曲です。

女王の葬送行進曲とカンツォーナ（パーセル原作）

ヘンリー・パーセル（Henry Purcell, 1659～1695）は、バロック時代のイングランドの作曲家です。幼い頃から音楽教育を受け、わずか18歳で王室作曲家に任命されました。この曲は1695年に作られ、イングランド女王メアリーⅡ世の葬儀で演奏されました。なお、この年にパーセル自身も36歳の若さで急死しました。今日演奏する部分の原曲は、金管楽器による楽曲です。

罪なき神の子羊 BWV deest（バッハ原作）

J.S.バッハのオルガン曲が原曲の作品です。プリモが奏でるメロディは、五度上の並行音程とともに奏されることにより倍音の効果をもたせ、美しい響きを作っています。

深き苦悩の叫びをあなたへ BWV 687（バッハ原作）

J.S.バッハのオルガン曲が原曲であり、マルティン・ルターが作曲したコーラルの旋律が用いられています。旋律冒頭の五度下行が「深き苦悩」を表し、次の上行が主なる神を呼び求めることを表すといわれています。

神の時は最上の時 BWV 106（バッハ原作）

この作品は、J.S.バッハのカンタータ（器楽の伴奏による声楽作品）『神の時は最上の時』の第I曲ソナティナが原曲です。もともとはブロックフレーテ（ドイツ語でリコーダーの意味）二本とヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音で演奏されます。

## 作曲家プロフィール

### 清瀬保二（1900-1981）



大分県生まれ、20世紀近代日本を代表する作曲家の一人である。一時、山田耕筰に和声学を学ぶも、ほぼ独学で作曲とピアノを学ぶ。1930年に新興作曲家連盟（日本現代音楽協会の前身）の結成に参加、1937年には初代委員長を務める。管弦楽曲、歌曲、合唱曲、ピアノや邦楽器などの器楽曲、映画音楽等の作品がある。1934年に来日したチェレプニンに認められ、チェレプニン・エディションとして『第1ピアノ曲集』『小組曲』が出版され、海外にも紹介された。武満徹は、清瀬保二を唯一の師と語った。

参考文献：クリティーク 80（編）『清瀬保二』（現代日本の作曲家3）音楽の世界社, 1995

### クルターグ・ジェルジュ（1926- ）



ハンガリーの作曲家、ピアニスト。リスト音楽院卒。フランス留学中はダリウス・ミヨーやオリヴィエ・メシアンに学ぶ。リスト音楽院で室内楽とピアノの教鞭をとった。エルンスト・フォン・ジーメンス賞（1998年）をはじめ数多くの音楽賞を受賞。オーケストラのための作品や、ピアノ小品、室内楽曲や歌曲など、作品の種類は幅広く、6年余の歳月をかけて作曲されたサミュエル・ペckett原作の戯曲「勝負の終わり」によるオペラは、2018年10月ミラノのスカラ座で初演予定。ピアノ・ソロやマールタ夫人との連弾による演奏活動も多い。